

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
 どんなことにも感謝しなさい。



聖書 (聖パウロのこぼれ) テコロネ第一 5章16~18節



10月は
 回サリオの月です

10月7日は
 ロザリオの聖母の記念日です。

2008.10.
 発行先: スズ校長
 (通巻第11号)



ロザリオの祈りは、イエスさまのお母さんの、
 マリアさまにお任せ致します。

ロザリオとは、バラの花の冠のことです。
 ひとつひとつの小さな祈りのお花をつなげて、

大きな祈りの冠にして、マリアさまに
 プレゼントするものです。



めぐみあふれる せいマリア
 しゅは あなたとともに おられます
 しゅは あなたを えらび しゅくぶくし
 あなたの こエスも しゅくぶくされました

かみのはは せいマリア
 つみぶがい わたしたちのために
 いまも
 しをむかえるときも
 いのちをください。アーメン。

お父さんや 母さんや、
 教会のお友だちや 神父さまと、
 大きな大きな 祈りの花束を
 つなげて、
 二人ですれば、
 大きな大きな 祈りの花束を
 つなげて、
 二人ですれば、

- ★ 主の祈り (天にお祈り) 1回
 - ★ 聖母マリアへの祈り (めぐみあふれる聖母マリア) 10回
 - ★ 栄唱 (栄光は父と子と聖霊に) 1回
- ひとつひとつの祈りを つなげて 一連。
- お母さんといっしょに二人ですれば、
 大きな大きな 祈りの花束を つなげて、
 二人ですれば、



パウロってどんな人?

パウロ年企画 二〇〇八・六・二九
二〇〇九・六・二九

第4回

第一回宣教旅行から帰ってきたパウロたち。



二人は悩んでいました。教会で、ユダヤ人とどうでなない異邦人の意見が分かれていたのです。

わしは昔から神さまを大切にしていた。昔からの決まりを守らなければならない。ユダヤの決まりを守るのは大事だよ。

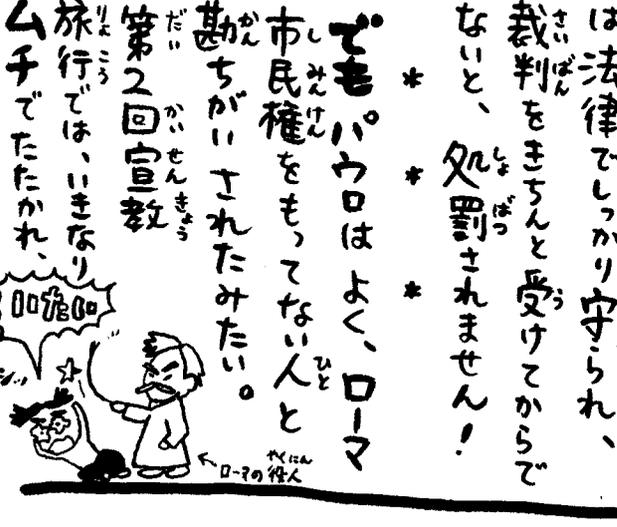
そこでパウロたちはエフェソの街に行き、イエスさまの弟子たちの代表ペトロさんたちと相談しました。



こうして話がまとまると、それをみんなに知らせよう。と早速パウロは第二回宣教旅行に出发するのです。



市民権として小ナテ頃から、しっかりした教育を受けることができた。ローマ市民として必要なラテン語のほか、ギリシア語もよくでき、そしてヘブライ語も使えました。(使徒言行録21章37節、22章2節)。ユダヤ人の多くが使っていたアラム語も当然使えたはず。それから、ローマ市民は法律でしっかり守られ、裁判をきちんと受け取れるからでないと、処罰されません!



でもパウロはよく、ローマ市民権をもっていない人と勘ちがいにされたみたい。第二回宣教旅行では、いままなりムチでたたかれ、



10がつはロザリオの月。
 ロザリオ(バラのはなのかんむり)を
 み〜んなで♡
 マリアさまにおくりましょう。
 マリアさまはみんなのおかあさま。
 きっと、よろこんでくださいます。

みんな
 おげんきで
 くらしたの
 ほなの
 こどもたち
 ぬえコー
 だよ。

AVE MARIA, GRATIA PLENA, DOMINUS TECUM !! BENEDICTA TU IN MULIERIBUS, ET BENEDICTUS FRUCTUS VENTRIS TUI JESUS. SANCTA MARIA, MATER DEI, ORA PRO NOBIS PECCATORIBUS. NUNC ET IN HORA MORTIS NOSTRAE. AMEN.

◆ 今月のひと ◆

インスタ飯塚

神様ありがとうございます
 いつもいっしょに
 いてくれて



回本名... 飯塚恵子 ADC
 回スピラ 修道女会の星 ☆

十月の教 THE MONTH OF THE ROSARY

5日(日)年間第27主日・緑 ミサ: 平林 神様 (イエズス会)

殉教者の列福をひかえ、ミニロザリオ
 とともに祈る7週間 スタート お祈りお返し ス又校長 出 張

12日(日)年間第28主日・緑
 中村 洗礼式 洗礼式 天地創造スゴククッ
 * 18日(土) 聖ルカ福音記者 (祝日赤)

19日(日)年間第29主日・緑
 天地創造スゴクで遊ぼう!!

ミサ 25日(土)午後5時~年間第30主日・緑
 ミサ 26日(日)午前8時~
 午前10時~午後2時.....バザー

* 27日(月) 聖シモン、聖ユダ使徒 (祝日赤)

カトリック救世教会 第1・第2・第3日曜 ミサ終了後
 03-3334-8216 月1回程度 土曜の午後4時
 ミサ 7:30~、10:00~ ただし10/26は変更

10月26日(日) 救世教会バザー
 この日のミサの時間にご注意ください

10時のミサはありません